

単独自治体がシンガポールで初の MICE 誘致プロモーション！ ～福岡市 MICE 誘致説明会・商談会～

シンガポール事務所

1. MICE 誘致に絞ったプロモーション

10 月 25 日、福岡市が MICE 誘致のための説明会・商談会をシンガポールで開催しました。JNTO シンガポール事務所によると、自治体が単独でシンガポールで行うことは初めての試みだそうです。福岡市は今回の観光プロモーションではターゲットを特にミーティング及びインセンティブ誘致に絞っています。招待者もミーティング及びインセンティブの担当者や関係者に絞り少人数で行ったことは、参加者にとってもわかりやすかったようです。また、商談会にホテル、ランドオペレーターが参加しました。行政による説明だけではなく、その場で商談が行うことができたことも好評でした。

シンガポールには「地方」の感覚がないため、通常は、単独の自治体が観光説明会を行っても効果的にはあまり期待できません。しかし、福岡市がある九州については、九州観光推進機構が特にこの 2、3 年間に集中的にプロモーションを行ったおかげで、九州の知名度が向上し、飛躍的にシンガポールからの観光客数が伸びている状況にあります。今回の福岡市のセミナーは、このような背景がある中で、九州の最大都市としての魅力をミーティング及びインセンティブに絞って行ったものであり、非常に効果的だったものと思われます。

2. 高級和食レストランでのプロモーション

会場となったのは、ブランドショップが立ち並びオーチャード・ロード通りのショッピングモール「セントラル」内。最上階のペントハウスで営業する本格的創作日本料理店を貸し切って行われました。

参加者は、シンガポールの航空会社、イベント主催者、旅行会社 MICE 担当者など約 30 名。福岡市によると、福岡市がファッショナブルで活力ある都市ということを印象づけるため、ホテルのボールルームではなく、ハイセンスなレストランでの開催を選択したそうです。このことにより、特別な空間・時間・おもてなしの演出を試みたとのこと。



会場となった厨ペントハウス

3. 説明会・商談会の内容



挨拶する中尾副会長

説明会・商談会は二部制で3時間。まず、冒頭の30分は福岡市の説明が行われ、後半2時間30分は昼食をとりながらの商談会とされました。説明会では、まず、公益財団法人福岡観光コンベンションビューローの中尾和毅副会長がコンベンション開催地としての魅力について挨拶を行いました。続き、担当者から、来年5月からシンガポールー福岡空港間を結ぶ週5便の直行便が週7便になり、更にアクセスが改善されることが紹介されました。

また、MICE 開催地として、福岡空港から市中心部、コンベンションゾーン等へのアクセスがよい事、海外の英語誌に世界でもっとも住みやすい都市のひとつであると掲載されていること、屋台から高級料理まで優れた食があること、祭りが年中行われていること、商業の中心となる天神地区には地下街が広がり Wi-Fi が無料で整備され、ショッピングが楽しめること、また、エクスカーションに適した観光地が近郊にたくさんあることが紹介されました。

さらに、福岡市内には、4つの主なコンベンション施設（マリンメッセ、国際センター、国際会議場、サンパレス）があり、大小さまざまなコンベンションをホストできることや、市内全域で客室数が20,000室以上あり、宿泊施設も十分そろっていることから、ハード施設面も充実していることが説明されました。



福岡市の名物料理がずらり

昼食会では、がめ煮、明太子卵焼き、豚骨ラーメンなどの福岡市の名物料理や、寿司、焼き鳥などがビュッフェ形式で提供されました。参加者からは、「とてもおいしい」と好評を得ていました。



商談会風景

商談会では、福岡市側からは、公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー、ヒルトン福岡シーホークホテル、LUIGANS ホテルやランドオペレーターなど5団体が参加しました。説明会后帰る参加者はほとんどいませんでした。2時間半の時間では不足するほど、熱心に商談がなされていました。

(中村次長 福岡県派遣)